

美しく輝く 里山共生都市

## 庄原市・株式会社ウッドワン 協定締結式 庄原材活用のための連携協定



豊富な森林資源を有効活用  
庄原材のブランド化に向けて

11月18日、市は同社と「庄原材  
活用のための連携協定」を締結  
しました。  
関連記事：2ページ

庄原市長  
木山 耕三

株式会社ウッドワン  
代表取締役社長  
中本 祐昌



# 庄原木材活用のための 連携協定を締結しました

商工林業課林業振興係 ☎0824-73-1124



11月18日、市と株式会社ウッドワンは、庄原木材を活用するための方策について連携して協力するため「庄原木材活用のための連携協定」を締結しました。

また、協定の目的を達成するため、同日「庄原木材活用研究会」を設立しました。

県内で最大の森林面積を有する本市は、植林後50年以上経過し、用材などへの利用が可能なスギやヒノキの人工林の面積が、1万5千ヘクタール余りとなっています。この豊富な森林資源を有効活用するため、優良な木材を安定的に生産するとともに、健全な森林機能が発揮される整備を図ることは、本市の大きな命題です。

この命題に取り組むため、市は建材メーカーの株式会社ウッドワンを本市の森林の現地視察に招き、一方で本年、木山耕三市長がニュージーランドにある同社の現地工場と社有林で、産出された木材の製材工程や、伐採後の植林をはじめとして、枝打ち、間伐など手入れの行き届いた素晴らしい森を視察しました。

こうした交流を通じて、庄原木材の生産体制の確立や供給の増加、木材の高付加価値化とブランド化を目指す取り組みについて意見交換を重ね、「庄原木材活用のための連携協定」の締結に至りました。

「庄原木材活用研究会」では、庄原木材の用途や販売戦略、および供給体制の構築や循環利用に関することなどの具体的な取り組みについて調査研究することとしており、この研究会を通して関係機関などと密接に連携し、豊かな森づくりや林業関連事業の活性化が図られることが期待されています。

## ● 協定の内容 ●

### (1) 趣旨

市と株式会社ウッドワンは、庄原木材を活用するための方策について連携して研究し、市における森林資源の循環利用サイクルの構築と、広島県における木材産業の活性化に寄与します。

### (2) 研究会の設置

市は本協定の目的を達成するため「庄原木材活用研究会」を設置し、株式会社ウッドワンは研究会の運営に協力します。

### (3) 期間

協定締結の日（11月18日）から令和4年3月31日まで。  
※協定締結期間は関係機関の合意により随時延期できます。



## ● 研究会の内容 ●

### (1) 趣旨

市と株式会社ウッドワンが「庄原木材活用のための連携協定書」に基づき、庄原木材活用研究会を設置します。

### (2) 所掌事項

▼庄原木材の用途および販売戦略に関すること  
▼庄原木材の供給体制の構築に関すること  
▼庄原木材の循環利用に関すること  
▼庄原木材の環境学習利用に関すること  
▼その他庄原木材の活用に関し必要な事項

### (3) 会員

研究会の会員は、市と株式会社ウッドワンおよび森林・林業・木材産業関係機関とする。  
※会長が必要と認める場合、総会に会員以外の者をオブザーバーとして参加させることができます。

#### 【森林・林業・木材産業関係機関】

- 甲奴郡森林組合
- 備北森林組合
- 西城町森林組合
- 東城町森林組合
- アサヒグループホールディングス株式会社 アサヒの森林環境保全事務所
- 土井木工株式会社
- 一般財団法人広島県森林整備・農業振興財団



このコーナーでは、  
農業のちょっとしたコツを、  
市の営農指導員から  
お知らせします。

**施設栽培の特徴と管理方法**  
施設栽培は、単位面積当たりの  
収穫量を最大限に高めようと工夫  
され、発展した技術です。ただし、  
以下のような土壌管理が行われる  
ことから、さまざまな障害が発生す  
る場合が多くなります。

**施設栽培土壌の一般的な特徴**

▼降雨の影響を受けないため、土壌  
中の肥料養分が流亡しない  
▼降雨の影響を受けないため、土壌  
中の肥料養分が流亡しない

**施設栽培土壌の管理**

▼有機物や化学肥料が多く施用さ  
れることが多い  
▼同じ作物が連続して栽培される  
ことが多く、土壌中の肥料成分が  
偏りやすい  
▼作物に必要な量の水やりができる  
▼施設の中の温度は外気に比べ高い

**施設栽培とは？**

ガラス室やビニールハウスなどを  
利用して野菜、花き、果樹などを栽  
培する園芸です。加温施設を備え  
るものと無加温のものがあります。

**施設栽培の特徴**

施設を使つて野菜を栽培して  
みませんか

**営農指導員の  
ワンポイントアドバイス**

営農指導員 若山 謙  
わかやま けん

**施設栽培の長所**

▼1年を通して栽培できる（収穫時  
期を人為的にコントロールできる）  
▼その作物が市場に少ない時期で  
も収穫できるため、より高値が狙い  
やすい。

**施設栽培土壌の管理**

▼多量の水やりや冬期間の除覆（ビ  
ニールなどの覆いをとる）によつて  
土壌中の養分を流亡させます。  
▼下層土の養分が少ない場合は、深  
く耕します（天地返し）。



**東三区板橋少年野球チーム**



当チームは、永末・高・板橋の3小学校の児童で構成し、2～6年生まで  
計25人が所属しています。「チーム一丸となって、正々堂々所懸命プレー  
する」をモットーに週3回（木・土・日）、板橋小学校グラウンドなどで楽しく  
練習しています。野球を通じて、子どもたちはたくましく成長しています。メ  
ンバーは随時募集しています。女の子も大歓迎です。お気軽にご連絡ください。  
連絡先：会長 馬場 ☎090-4809-7891 事務局 原田 ☎090-9067-4958

- 2 庄原材活用のための連携協定締結
- 4 市民のページ
- 5 こうすりゃ〜ええ農  
／比婆いざなみ街道物語
- 6 「いきかたノート」をご存知ですか
- 8 庄原市職員募集《追加募集》
- 9 年金生活者支援給付金請求手続き
- 10 除雪作業にご理解とご協力を
- 11 75歳以上の方のみの世帯雪下ろし  
／ふりりイベント情報
- 12 庄原市西城温水プールのご利用を  
／庄原市成人式
- 13 消費生活Q&A  
／安心・安全な毎日のために
- 14 母子保健だより  
／子育て通信あそびっ子
- 15 健康広場
- 16 市政トピックス
- 18 カメラレポート
- 21 お知らせ

**比婆いざなみ街道物語 第9話**

街道沿線に存在するさまざまな  
資源をシリーズでお伝えする「比  
婆いざなみ街道物語」。  
今回は、伝説の未確認生物「ヒ  
バゴン」について紹介します。

「ヒバゴン」出現！  
地元は、大騒ぎ！

「ヒバゴン」は、比婆いざなみ街  
道沿線、西城町（旧比婆郡）の比  
婆山の麓で目撃された、謎の類人  
猿です。

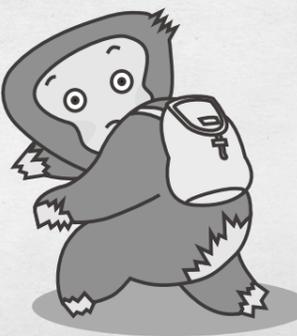
出没地にちなんで「ヒバゴン」  
と名付けられた謎の生物は、逆三  
角形の顔で、全身が毛で覆われた  
まるでゴリラのような体だったと  
いわれています。

ヒバゴンは昭和45年に初めて目  
撃されて以降、何度も目撃され  
て、遂には「UMA（未確認生物）」と  
して、日本全国に報道されました。  
その反響は大きく、全国の大学な  
どによる探検隊が相次いで現地調  
査を行いました。当時の西城町役  
場（現市役所西城支所）には「類  
人猿係」が設置され、対応に当た  
るほどでしたが、昭和50年ごろに  
はヒバゴンの目撃情報は次第にな  
くなりしました。

5年間に及ぶヒバゴン騒動は、  
大きな謎を残したまま終息を迎  
え、その当時の様子は今でも伝説  
として語り継がれています。

**市のPRロゴマーク  
キャラクターなどとして**  
目撃情報によると怖そうない  
メージのヒバゴンですが、今では  
愛くるしい姿となって市民に愛さ  
れ、「いざなみツク」などの市のイ  
ベントに出演するなど、比婆いざ  
なみ街道を象徴するキャラクター  
として活躍しています。この他、「ヒ  
バゴンネギ」や銘菓「ヒバゴンの  
たまご」など、特産品のパッケー  
ジにも使用されています。

**もつすく目撃から50周年**  
来年はヒバゴンが目撃されてか  
ら50周年となる節目の年です。  
もしかしたら、ヒバゴンが山の  
中からひょっこり現れるかも知れ  
ませんよ。



**なごみま★  
ショット**



もりやま 森山 瑞巴ちゃん（西本町）  
H29年6月25日生まれ  
父母より：お世話大好きな優しい瑞巴ちゃん。いつも癒やしと笑いを与えてくれてありがとう。



もりやま 森山 絢翔くん（西本町）  
H31年2月16日生まれ  
父母より：ニコニコ笑顔の絢翔くん。これからいろんなことを一緒に楽しもうね。

**まちづくりを進める市民活動登録団体  
をご紹介します！**

市は市内で活動している市民活動団体の登録制度をつくり広く公開しています。市民活動の充実、まちづくりの連携や協働を進めるため情報をお届けします。



**特定非営利活動法人  
マツタケ山再生研究会**

**活動内容** マツタケ山の再生事業など  
私たちは、県立広島大学と連携し、市内でマツタケの生育可能な山林を対象に、マツタケ山の再生事業を行い、地域の活性化に貢献することを目的に活動しています。  
マツタケの増産を目指し、不要樹木の伐採や、枝打ち、下草刈り、腐葉土の除去などの環境整備を行うとともに、従来の松林を維持するため、松食い虫に強いスーパー松の植樹や人工的なマツタケ菌床の育成に取り組んでいます。  
また、例年、小学生や地域の方と共同で椎茸などの栽培も行っています。  
当研究会では、会員を随時募集しています。興味のある方はお気軽に事務局までお電話ください。

**問い合わせ**  
☎090-7979-7853（担当：宮本）

**市民活動団体登録をしませんか？**  
市は随時、登録を希望する市民活動団体を募集しています。詳しくは、自治定住課自治振興係（☎0824-73-1209）まで。

# 「いきかたノート」をご存知ですか

市が独自に作成した庄原版終活ノート「いきかたノート」私からあなたへ」に高い関心が寄せられています。どのような目的で作られたノートで、どのように活用していただきたいかをご紹介します。

高齢者福祉課地域包括支援センター係 ☎0824・73・1165



## これからの「いきかた」を考え、家族や身近な人と話をするためのノート

「人生百年時代」ともいわれる長寿社会を迎え、高齢期の暮らし方に対する関心が高まっています。

この「いきかたノート」は、やがて来る人生のゴールに向けて、日々の暮らし方、また、介護や医療が必要となった時にどこでどのように暮らしたいかを考える医療・介護サービスを受けたいかを考え記しておく、家族や身近な人と話をするきっかけになるように作ったノートです。「いきかた」には「生き方」と「逝き方」の2つの意味を込めています。

このノートは、市内の医師や看護師、介護職、地域福祉職、自治振興区の役員など、さまざまな立場の方々の協議を基に生まれました。ではなぜ、このようなノートが必要なのでしょう。

### 「私の思い」が尊重される

ノートが生まれた背景には、人生のゴールまでの「いきかた」について、可能な限り希望がかなう社会にしたいという機運の高まりがあります。

例えば、医療の分野では「本人の意思の尊重」が進み、かつては医師に判断を委ねていた治療方針の決定について、「本人はどんな治療を望まれますか」と聞かれるようになりました。

思いが尊重される一方で、自分の思いを明確にしておく必要性も高まってきました。そこで、高齢期の自分の「いきかた」に対する思いを整理し、実現に向けて家族や身近な人と共有するための道具として作ったのが「いきかたノート」です。

高齢期の「いきかた」について、考えておかないといけないこと、家族や身近な人と話しておく必要があることがいろいろあります。

例えば、こんな思いを持っていたら…



ピンピンコロリで逝きたいのう  
人生の最期まで元気でおりたいのう

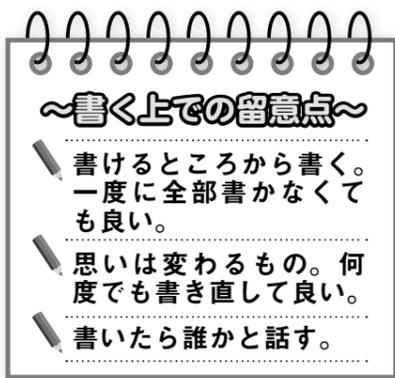
- 長く元気でいるためには、定期的な健康診断、生活習慣の見直し、介護予防などが大切になります。
- コロリ（体調の急変）に備え、救急車を呼ぶのか、延命治療をどこまで望むかなどについて考え、実際に対応することになる家族などとも話し合いを重ねて、理解を得ておく必要があります。
- ピンピンコロリで逝ける人は少ないのが現実です。長期の入院や介護が必要になる場合のことも考えておく必要があります。



住み慣れた自宅で  
ずっと暮らし続けたいわ

- 年を重ねるごとに、今までできていた身の回りのことができなくなるかもしれません。ご近所とのつながりによる助け合いなどが、これまで以上に大切になってくることもあります。
- 家族が離れて暮らしている場合、家族は心配が増してきます。家族にも自分の希望を伝え、理解と協力を得ることが必要です。

「いきかたノート」が、自分の考えを整理し、伝えるための助けになります。



### ~書く上での留意点~

- 書けるところから書く。一度に全部書かなくても良い。
- 思いは変わるもの。何度でも書き直して良い。
- 書いたら誰かと話す。

### ノートを手にするには

ノートに書く事柄にはデリケートな内容もあり、書くために知っておいた方がよいこともあることから、必ず詳しく説明してからお渡しすることをルールとしています。

主には、市の「出前トーク」による講座を通してお配りしており、地域のサロンなどからお声をいただいています。

講座を始めた昨夏からこれまでに50回以上、延べ約千人の方に話を聴いていただきました。現在、出前トークの中で最も依頼の多いメニューになっており、このテーマへの関心の高さが伺えます。

講座は、市内の医療・介護・地域福祉の専門職にも協力をいただき、全市政的な取り組みとして進めています。

### 出前トークの申請方法

行政管理課と各支所総務室で受け付けています。まずはご相談ください。  
行政管理課広報統計係  
☎0824・73・1159



### サロン段畑ほほえみ会 (総領町亀谷)

秋山 静さん



郷力 和明さん  
庄原市医師会副会長  
(西城市民病院院長)

### 「いきかたノート」を庄原の文化に

高齢になっても自分らしく、安心感のある暮らしを実現するためには、医療や介護のサービス、そして、家族やご近所とのつながりが欠かせません。それらについて、自分の思いを整理し、身近な人と話すきっかけを作ることが出来る「いきかたノート」は、最期まで自分の人生を豊かに生きるための道具ともいえるでしょう。

このノートを書いて、家族や身近な人と話ることが当たり前前のことになり、庄原の文化になっていくことを期待しています。

### サロンで講座を開催しました

他のサロンで講座を受けた方から「良かった」というお話を聞き、申し込みました。ともすれば暗くなりそうな話題ですが、例え話などから身近に考えやすい内容で、気心知れたサロンの仲間と一緒に、いろいろ話飛び交いながらの楽しい講座になりました。

講座は、改めて大切な事を考えるきっかけになりました。参加者からは「不安が少し解消した」「書きやすいところから書いてみようと思う」といった感想がありました。私自身も、終活について考えてはいましたが、「子どもと話をしていない」ということに気付いたので、ノートを使っ、これから家族で話をしたいと思っています。

サロン以外にもさまざまな機会です。講座を開催できます。関心を持った方は、まずご相談ください！



みんなで、いきかたノートを受け取りました

## ノートにはこんなことを書きます

- ▶ 健康長寿の3本柱「運動」「栄養」「社会参加」について、いま取り組んでいることと、これから取り組んでみたいこと
- ▶ 身近な近所での助け合いについて
- ▶ 介護や看護が必要になったときに、どこで暮らしたいか
- ▶ 治療が難しい状態になったときに、どのような医療を受けたいか
- ▶ 自分の希望を誰かと話をしているか、誰と話をしたいか
- ▶ 家族や親しい人に伝えておきたいこと（メッセージ、遺言・葬儀・お墓のこと、財産など）

▶ 老齢基礎年金 (65歳以上)、障害基礎年金、遺族基礎年金を受給中の方へのお知らせ ◀



# 年金生活者支援給付金の 請求手続きをお忘れなく！

保健医療課国保年金係 ☎0824-73-1158

10月1日から、「年金生活者支援給付金制度」が開始されています。  
この給付金は、公的年金などの収入や所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。  
給付金の受け取りには、請求書の提出が必要です。  
対象となる方には、日本年金機構から9月以降に請求書（返信用はがき様式）が発送されています。  
なお、令和2年1月以降に請求した場合は、請求した月の翌月分からの給付となります。**本年10月分からの給付とするためには、12月中の請求手続きが必要です。**  
まだ請求手続きをしていない方は、お早めに手続きをしてください。

### 対象となる方

**■ 老齢基礎年金を受給している方**  
以下の要件をすべて満たしている必要があります。

- ① 65歳以上である
- ② 世帯員全員の市町村民税が非課税となっている
- ③ 前年の年金収入額とその他所得額の合計が879,300円以下である

---

**■ 障害基礎年金・遺族基礎年金を受給している方**  
以下の要件を満たしている必要があります。

- 前年の所得額が「4,621,000円+扶養親族の数×38万円※」以下である
- ※ 同一生計配偶者のうち70歳以上の方または老人扶養親族の場合は48万円、特定扶養親族または16歳以上19歳未満の扶養親族の場合は63万円。

### 問い合わせ

**三次年金事務所（日本年金機構）**  
☎0824-62-3107（自動音声案内に従って該当する番号をプッシュ）または  
『年金生活者支援給付金専用ダイヤル』  
☎0570-05-4092（ナビダイヤル）  
050で始まる電話でおかけになる場合：（東京）☎03-5539-2216（一般電話）

受付時間：月曜日 8時30分～19時  
火～金曜日 8時30分～17時15分  
第2土曜日 9時30分～16時

●市は次のような職員を求めています。

<b>市民 起点</b>	自治振興区などを通じた地域活動に積極的に参画し、市民との協働に努める職員	<b>経営 感覚</b>	組織のミッションを理解し、それを実現するための最善の方法を導き出せる職員	<b>自律 と創造</b>	失敗を恐れずに新たな課題に果敢に挑戦していく職員
------------------	--------------------------------------	------------------	--------------------------------------	-------------------	--------------------------

●採用職種、採用予定人員および応募資格

職種	採用予定人員	応募資格(※)
一般事務職	若干名	・平成元年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた人
技術職(土木)	若干名	
障害のある人を対象とした一般事務職	若干名	・昭和59年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた人 ・受付期限までに身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人

※いずれの職種も、令和2年4月1日から勤務が可能の人。  
※1受験者につき1職種しか受験できません。

- **申込手続**
  - ① 試験案内・申込書の入手方法
  - ② 配布場所 総務課職員係、各支所総務室
  - ③ インターネットの利用 市ホームページ <http://www.city.shobara.hiroshima.jp> に掲載中の試験案内から印刷してください。
  - ④ 郵送による請求 庄原市総務課職員係（〒727-8501 庄原市中本町一丁目10番1号）宛てに返信用封筒を同封してご請求ください。
  - ・総務課職員係宛ての封筒の表には「試験資料請求」と朱書きしてください。
  - ・返信用封筒（角形2号・縦33・2cm×横24cm）に宛先を明記し、1200円切手を貼ってください。
- **提出書類**
  - ① 申込書に必要事項を記入し、添付書類と併せて総務課職員係へ提出してください。
- **申込受付期間**
  - 令和2年1月8日(水) 17時15分まで
  - 郵送の場合は1月8日(水)消印有効
- **試験の方法**
  - ① 試験は第1次試験および第2次試験とし、第2次試験は第1次試験の合格者で行います。

- **第1次試験**
  - ① 試験日 令和2年1月26日(日) 7時45分受付開始
  - ② 試験会場 庄原市ふれあいセンター（庄原市西本町四丁目5番26号）
  - ③ 試験科目 教養試験、性格特性検査、作文試験、専門試験（技術職（土木）のみ）
  - ※ それぞれの試験は、活字印刷文による出題により実施します。
- **第2次試験**
  - ① 試験日 令和2年2月下旬
  - ② 試験会場 第2次試験の試験日、会場、試験内容などの詳細は、第1次試験合格者へお知らせします。
- **採用予定年月日**
  - 令和2年4月1日採用予定
- **問い合わせ**
  - 総務課職員係
  - ☎0824・73・1122
  - ※ 詳しくは「令和元年度庄原市職員採用試験《追加募集》案内」をご覧ください。



# 除雪作業にご理解とご協力を

建設課管理係 ☎0824-73-1150

12月に入り、市内各地域で積雪が予想されます。県と市は、積雪時に道路交通を早期に確保するため除雪に努めています。除雪作業は日常生活に欠かすことのできない道路交通を確保するための重要な作業であり、迅速かつ効率的に行う必要がありますが、積雪量や障害物などで時間がかかる場合もあり、道路の幅や構造によっては、除雪できない道もあります。皆さんのご理解とご協力をお願いします。



## 市道除雪について

- 市は道路上に20センチメートル以上の積雪が確認され、通行に支障がある場合に除雪作業を行います。(国・県道は積雪15センチメートル以上)
- 夜間の除雪作業は大変危険なので、原則として5時から17時までの間で行います。
- 道路の幅員や障害物などの状況によっては、交通規制などを行う場合があります。

## 除雪作業を行う上でのお願い

- 車道・歩道上の除雪作業の障害となるものは事前に撤去するなどの対応をお願いします。また、道路脇に設置してある電気柵などは除雪作業により破損する恐れがありますので、あらかじめ撤去しておいてください。
- 路上駐車がある場合、除雪作業に支障が生じますのでご注意ください。
- 家や駐車場の出入口は特に注意して除雪していますが、除雪機械の構造上、全ての雪を取り除くことはできません。限られた時間と人員で市内の道路交通を確保しなければならないため、寄せ雪の除去は大変困難であり、各家庭で取り除いていただきますようご協力をお願いします。
- 道路脇の樹木の枝が積雪でたわみ、通行の障害になる場合は、樹木の所有者の責任で撤去するなどの対応をお願いします。特に危険な場合には、作業員にて伐採することがあります。
- 屋根の雪やつららが道路へ落ちる恐れがある場合は、屋根に雪止めなどを設置し、事故防止の対策をしてください。また、屋根などの敷地内の雪を道路に出す行為は道路法および道路交通法などで禁止されています。

## 除雪についての問い合わせ

▶ 国道・県道の場合  
 広島県北部建設事務所 庄原支所土木課 ☎0824-72-2015

▶ 市道の場合  
 建設課管理係 ☎0824-73-1150  
 西城支所地域振興室 ☎0824-82-2181  
 口和支所地域振興室 ☎0824-87-2113  
 比和支所地域振興室 ☎0824-85-3003

東城支所産業建設室 ☎08477-2-5141  
 高野支所地域振興室 ☎0824-86-2113  
 総領支所地域振興室 ☎0824-88-3065



# 75歳以上の方のみの世帯の「雪下ろし」を支援します

～庄原市高齢者世帯雪下ろし支援制度～

市は、高齢者が降雪期に安心して生活できるよう、市内の高齢者世帯を対象とした雪下ろし支援制度を設けています。

## 対象者は？

- 市内に住民票があり、現に居住している75歳以上の方のみで構成する市民税非課税の世帯。
- また、75歳以上の方以外に、次のいずれかに該当する方が同居している世帯も対象となります。
- ① 1級～4級の身体障害者手帳所持者
  - ② ④から⑥までの療育手帳所持者
  - ③ 1級または2級の精神障害者保健福祉手帳所持者
  - ④ 15歳未満の方

## 対象となる作業は？

- ① 屋根からの雪下ろし
  - ② 屋根から下ろした雪の除去
  - ③ 屋根から落ちた軒下の雪の除去
- ※ただし、現在住んでいる住宅に限ります。

## 支援内容は？

- 経費の助成 対象作業に要した経費の3分の1以内の額(千円未満は切り捨て)を助成します。同年度内に受け取れる助成金の上限は3万7千円です。
- 業者の紹介 対応が可能な業者を紹介しますので、お問い合わせください。

## 申請方法は？

業者などに依頼した雪下ろし作業が完了した後、交付申請書に実施状況報告書と領収書の写しを添えて申請してください。

## 申請窓口・問い合わせ

高齢者福祉課高齢者福祉係  
 ☎0824-73-1165  
 または各支所地域振興室・市民生活室(西城支所は、しあわせ館内)



## 国営備北丘陵公園北入口二帯を無料開放している社会実験事業を実施中!!

※繁忙期など無料とならない日もあります。詳しくはホームページ(<https://www.shobara-furari.jp/>)をご覧ください。

国営備北丘陵公園北入口エリア  
 里山の駅 庄原ふらり イベント情報



## 活用講座 しめ縄飾り作り 体験

自分でねじって、締めて、自宅に飾る、手作りのしめ縄飾りを作ります。お一人での参加や親子での参加など、どなたでも参加できます。ぜひ、ご参加ください。

- とき** 12/22日  
10時～14時 (12時～13時は休憩です。)
- ところ** エントランスセンター国兼 1F 情報広場
- 参加費** 300円
- 定員** 20人程度 (小学生以下は保護者同伴)

- 申し込み方法**  
電話でお申し込みください。  
(平日8時30分～17時15分)
- 申込締切**  
12月18日(水)  
※定員になり次第、締め切ります。



申し込み・問い合わせ / 備北丘陵公園北エリア運営協議会(事務局:観光振興課観光振興係 ☎0824-73-1179)

# 庄原市西城温水プール

## からのご案内

西城教育室 ☎0824・82・2121  
西城温水プール 水夢 ☎0824・82・2446



所在地 西城町大佐729-1  
開館日 火曜日および祝日  
13〜20時(受け付けは19時まで)  
休館日 毎週月曜日  
※祝日の場合は開館します

温水プールは12月1日から翌年2月  
末日まで休場しますが、プール以外の  
施設は12月1日以降も利用できます。  
また、3月1日からは、プールを再開  
しますので、ぜひご利用ください。

庄原市西城温水プール 水夢は、年間  
約1万人以上が訪れる温水プールで  
す。一般用のプールの他に幼児用プー  
ルもあり、親子連れで楽しむこともで  
きます。内部にはトレーニングルーム  
フィットネススタジオがあり、天候に  
かかわらず体力づくりや健康増進のた  
めに利用できます。  
本年度も健康促進や子どもの体力づ  
くりを目的に水泳教室や体操教室を開  
催し、市内全域から多くの方が参加し  
ました。



### 【お知らせ】

## 本年度から休場期間を変更します

(変更前) 11月1日〜翌年1月末日  
⇐  
(変更後) 12月1日〜翌年2月末日  
※プール以外の施設は12月1日以降も利用できます。

### 消費生活Q&A

## こんな消費者トラブル ありました!

架空請求はがきに関する相談が  
後をたちません

### 相談事例

民間訴訟告知センターというところ  
から、身に覚えのない内容のはがきが  
料金後納郵便で届いた。連絡をしなけ  
れば「給料の差し押さえ」や「不動産  
の差し押さえ」をすると書かれている。  
訴訟の取り下げ最終期日が間近に  
迫っているが、どうしたらよいか。

### 相談者へのアドバイス

架空請求のため、連絡をせず無視す  
るようには伝えました。

◎架空請求の被害に遭わないために  
架空請求の特徴を知っておきましょう。



市民生活課市民生活係  
☎0824・73・1154

- ▼給与の差し押さえなど、消費者の不  
安をあおる。
  - ▼「個人情報保護」等を理由に周囲に  
相談させないようにする。
  - ▼公的機関のような名称を名乗る。
  - ▼「料金後納郵便」により、あたかも公  
的機関から送付したように装うケース  
もある。
- ◎対処方法  
相手に連絡をせずに、「無視」してく  
ださい。
- ◎架空請求に関する相談は庄原市消費生  
活センターへ。  
☎0824・73・1228  
【平日9時〜16時(12時〜13時は除く)】

### <架空請求はがきの見本>

#### 消費料金に関する 訴訟最終告知のお知らせ

この度、ご通知致したのは、貴方の利用されて  
いた契約会社、もしくは運営会社側から契約不履行による  
民事訴訟として、訴状が提出されました事をご通知  
致します。

管理番号(す) ■■■ 裁判取り下げ最終期日を経て訴訟  
を開始させていただきます。

尚、このままご連絡なき場合は、原告側の主張が全面的  
に受理され、執行官立会いの下、給与差し押さえ及び動産、  
不動産の差し押さえを強制的に執行証書の交付をご承諾  
いただきます様お願い致します。

裁判取り下げなどのご相談に関しましては、当局にて  
承っておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。  
尚、書面での通知となりますので、プライバシー保護  
の為、ご本人様からご連絡いただきます様、お願い申  
し上げます。

※取り下げ最終期日 令和1年■月■日

法務省管轄支局 民間訴訟告知センター  
東京都千代田区内幸町■■■■  
取り下げ等のお問い合わせ窓口 03-■■■■  
受付時間 9:00〜20:00 (日、祝日は除く)

# 令和元年度 庄原市 成人式



昨年度の様子

本年度の成人式を次のとおり行  
います。新成人の皆さんの参加を  
お待ちしております。

また、新成人を祝いたい市民の  
皆さんもご参加ください。

とき 令和2年1月4日(土)

- 【受付】 12時30分〜
  - 【式典】 13時〜
  - 【記念行事】 13時30分〜
  - 【記念撮影】 14時30分〜
- ※例年8月に開催していますが、  
本年は、台風の接近により延期し  
ました。

ところ 庄原市民会館

### 対象者

平成11年4月2日から平成12年  
4月1日までに生まれた、市内在  
住または庄原市出身の人。

### 申し込み

対象者には11月から順次案内状を送  
付しています。

ただし、次に該当する人には案内状  
が送付できませんので、生涯学習課ま  
たは各支所教育室へ事前にお申し込み  
ください。

- 庄原市に居住しているが、庄原市に  
住民登録をしていない人
- 庄原市出身で、庄原市以外に住民登  
録をしている人
- 7月1日以降に庄原市に転入(住民  
登録)した人

### 問い合わせ

生涯学習課社会教育係  
☎0824・73・1188  
メール syogai-syakai@city.shobara.lg.jp  
または各支所教育室

## 安心・安全な毎日のために

### 火災の発生に注意しましょう!

この時期は空気が乾燥し、風も強  
くなるため、火災が発生しやすくな  
ります。火気の使用が増えるため、  
取り扱いには十分注意しましょう。

### ! 火気を取り扱う際のポイント

- 給油の際には必ず火を消す。
- 燃料タンクのふたは確実に閉める。
- ストープの近くで洗濯物を干さな  
い。
- ストープなどの暖房器具の近く  
に、燃えやすいものやスプレー缶な  
どを置かない。

### ★保管・取り扱いは確実に!

- 冬になり、ストーブの使用など、  
灯油を取り扱う機会が多くなりま  
す。灯油などの危険物を保管する・  
取り扱う際は次のことに注意をし  
ましょう。
- ① 高温多湿を避け、日の当たらない  
場所に保管する。
- ② ガソリンや混合燃料はポリタンク  
に入れず、金属製のガソリン携行缶  
に入れる。
- ③ 周囲に火の気が無いことを確認し  
取り扱う。



### 窒息事故に注意しましょう!

例年、年末年始が近づくと、お餅  
を喉に詰まらせ窒息状態に陥る事故  
が多く発生しています。次のことを  
行い、予防しましょう。

- ① 食品を食べやすい大きさにする。
  - ② ゆっくりとよく噛み砕き、だ液と  
まぜて飲む。
  - ③ お茶などを飲み、喉を湿らせる。
- 特に飲み込む力が弱い高齢者は注  
意が必要です。もし窒息を起こした  
ら、すぐに119番  
通報をしてください。



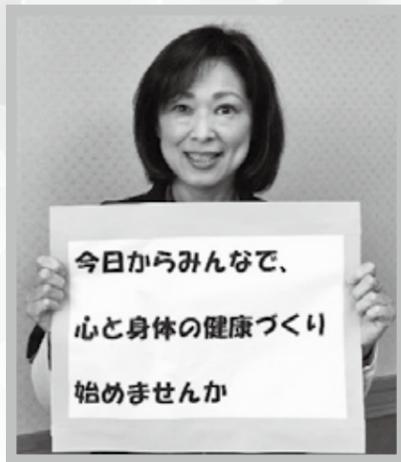
### 入浴事故に注意しましょう

冬期は、暖かい部屋から寒い浴室  
に移動した際や、寒い浴室内で熱い  
湯につかっただけなど、大きな温度変  
化により心臓や血管に負担がかかり、  
脳卒中や心臓発作などが発生しやす  
くなります。

### ★入浴事故を防ぐには...

- ① 浴室や脱衣所を暖め、温度差を少  
なくしてから入浴する。(湯の温度は  
41℃以下)
- ② かけ湯をするなどして体を湯の温  
度に慣らしてから入浴する。
- ③ 飲酒後や食後、薬の服用後はなる  
べく避け、長時間の入浴はしない。

2019年度 全国統一防火標語 「ひとつずつ いいね! で確認 火の用心」



# 地域で健康づくりを

高野支所地域振興室 専門員  
土居 和子

保健医療課健康推進係  
☎0824-73-1255

平均寿命が男女とも80歳を超え、世界有数の長寿国とされている日本ですが、最後の約10年間は寝たきりなど、不健康な状態で過ごす人が多いことを知っていますか。

自立して健康な状態で過ごすことができる期間（健康寿命）をできるだけ延ばすため、健康な心と体を維持していくこと（健康づくり）が必要です。

## 食を通じた健康づくり

市内には、健康づくりに取り組むいろいろな団体があります。その内の一つで、食から健康を考える団体に、食生活改善推進員協議会があります。この団体は「みんなで集まり健康づくり、私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、より多くの人が、いつまでも元気で安心して暮らしていけるよう、食生活改善に向けた活動を地域で展開しています。

仲間です定期的に勉強会や調理実習を行うことで知識を深めるとともに、学んで得た知識を生かし、調理実習を通して食の大切さを楽しく学ぶことができる「親子の食育教室」や高血圧予防のための「減塩食の啓発活動」などを行い、地域全体で食を通じた健康づくりに取り組んでいけるよう、日々活動しています。



勉強会の様子



## 健康づくりの勧め

食生活のほか、運動・ボランティア活動・生活習慣改善など、健康づくりの切り口はさまざまです。一人では難しくても、友達や近所の人などと一緒にすると継続しやすいものです。地域で展開される活動に参加するなどして、一人一人が健康づくりに取り組み、健康寿命を延ばしていきましょう。



## 母子保健 だより 比和地域 なかよしサロン

保健医療課健康推進係  
☎0824・73・1255

不安になりがちな育児が少しでも楽しくなるよう、各地域でさまざまな取り組みやサークル活動が行われています。ぜひご利用ください。今回は比和地域の「なかよしサロン」にインタビューを行いました。

### 比和 なかよしサロン

比和地域では、毎月1回「なかよしサロン」を開催し、育児相談や地域交流を行っています。これは子育て中の方が子どもと一緒に参加できる場で、子育て支援センターの子育てコーディネーター、子育て推進員、比和自治振興センターの地域マネージャーと市保健師が実施しています。最近では、口和・高野地域からの参加もあり、参加者同士の交流の輪が広がっています。また、育児相談、身体計測や情報交換だけでなく、「介護者のつどい」の皆さんとの交流や、地域の先輩方から知恵や技を教えることも行っています。



これまで「介護者のつどい」などの「ヨガ」「地域の方との救命講習」などを実施し、今後は「しめ縄づくり」「こんにゃくづくり」を予定しています。これからの、子どもたちが地域の皆さんの愛情をたくさん受けて育っていけるよう応援していきます。どなたでも参加できますので、お気軽にお問い合わせください。  
申し込み・問い合わせ  
比和子育て支援センター  
(比和保育所内)  
☎0824・85・2608  
比和支所地域振興室  
☎0824・85・3001

## 子育て通信 あそびっ子

児童福祉課あんしん支援係  
☎0824-73-0051



仕事をしながら子育てをしていると、「子どもが急に熱を出したけど、どうしても仕事を休むことができない」といったことがありますか？  
このようなときに、一時的に子どもを預かる施設が、庄原市にもあります。

仕事と子育ての両立を支援します！

### 「病児病後児保育施設 「わらべ保育室」

西本町二丁目12・9

☎0824・74・6770

開所日、時間 月～金曜日（祝日・年末年始を除く）8時30分～18時

### 利用の手順

- 事前登録 あらかじめ登録用紙を児童福祉課またはわらべ保育室に提出してください。
- 予約 わらべ保育室（☎0824・74・6770）に電話で予約してください。

※受け付けは利用前日の8時30分～18時または当日の11時までです。  
③受診 隣接する庄原こどもクリニックで受診し、わらべ保育室を利用したい旨を伝え、「医師連絡票」を受け取ってください。  
④利用申請・入室 持参物を用意し、わらべ保育室で利用申請書を記入してから利用してください。

利用時バックをあらかじめ用意しておくにも安心です。

- ▼医師連絡票
- ▼保険証
- ▼乳幼児医療受給者証
- ▼薬
- ▼印鑑
- ▼おやつ（やわらかく消化の良いもの）
- ▼飲み物
- ▼着替えやオムツ
- ▼手拭タオル
- ▼ビニール袋 など

⑤利用料金の支払い…後日、児童福祉課から送付する納入通知書（納付書）により、お近くの金融機関などでお支払いください。

### わらべ保育室の一日

わらべ保育室では、保育士が定時に体温測定をし、状態を見ながら一緒に過ごします。また、庄原こどもクリニックの医師や看護師が体調を診に来ます。子どもは、音楽を聴いたり、絵本を読んだり、遊んだり、昼寝をしたりしながら保育室で過ごします。

### 高齢者福祉課 市長が長寿者を表敬訪問

100歳以上の方に敬老祝金を贈呈



百歳を迎えた石原末夫さん(水越町)(写真手前)

木山耕三市長が10月から12月にかけて、長寿を祝福するため、市内の百歳以上の高齢者を訪問し、敬老祝金を手渡しました。また、本年度中に満百歳を迎える方(基準日/9月15日の「老人の日」)に贈られる内閣総理大臣からのお祝い状と記念品の銀杯を伝達し、あわせて市長からのお祝い状を手渡しました。

本年度の敬老祝金贈呈対象者(大正9年3月31日以前に生まれた方)は91人(男性15人・女性76人)、市内最高齢者は女性が満107歳の方、男性が満103歳の方となっています。

### 教育指導課 「グローバル化」をテーマに開催!

庄原市教育フォーラム



庄原小6年生外国語科の公開授業



10月20日、「グローバル化」をテーマに庄原市民会館で教育フォーラムを開催し、約500人が参加しました。まず、庄原小学校6年生が、外国語科(英語)の公開授業を行いました。続いて、庄原中学校3年生が昨年度の修学旅行で取り組んだ、外国人観光客への英語での庄原観光PRについて発表し、その後、2



庄原中2年生による英語スピーチ

年生が英語スピーチを行いました。最後に、テレビ番組などでも活躍中のルース・マリー・ジャーマンさんを講師に迎え、「外国人から見た日本のグローバル化の現状(日本人がグローバル化と向き合うための心構え)」と題して講演が行われました。講演は、今後ますますグローバル化が進む社会で、相手が何を求めているのかを考えることや、正しさよりも相手に伝わるような説明を意識することなど、笑いを交えながらテンポよく話して、会場全体が盛り上がりました。



庄原中3年生による外国語科の取り組み発表



令和元年度庄原市教育フォーラム

### 農業振興課

### 庄原市内農家の和牛・乳牛が大躍進!

第95回広島県畜産共進会



首席を獲得した大迫さんの出品牛(手前)

10月29日、広島県三次家畜市場で第95回広島県畜産共進会「種畜の部」が開催され、庄原市内から35頭(肉用種20頭・乳用種15頭)が出品されました。肉用種牛(成牛の部)では、大迫三三さん(峰田町)出品の「ひでみ2の4」、乳用種牛(未經産牛1区)では、赤木颯太さん(峰田町)出品の「レッドツリナイト エクリプス ジョン」がそれぞれ優秀賞首席を獲得しました。今回の結果で市内農家の飼養管理技術の高さを改めて示すことになりました。今後中国地方有数の畜産地帯としての地位を確固たるものとするため、関係者一丸となって家畜の改良に取り組んでいきます。



首席を獲得した赤木さんの出品牛



審査の様子

### 農業振興課

### 比婆牛の価値をさらに高める

「比婆牛」地理的表示保護制度(GI)登録報告会



あいさつをする木山会長(庄原市長)

11月5日、「比婆牛」ブランドの推進組織「あづま葛振興会」が、かんばんの郷庄原で、「比婆牛」地理的表示保護制度登録報告会を開催しました。当日は生産者や、広島県、農協などの畜産関係者約40人が参加し、「比婆牛」の地理的表示保護制度(GI)への登録を祝いました。あづま葛振興会の木山耕三会長(庄原市長)は「登録の報告ができることは喜ばしい限り。GI登録により比婆牛の価値をより高めていきたい」とあいさつしました。市は今回のGI登録を機に、生産・販売への気運を一層高め、県内最大規模の和牛産地「庄原」が今後とも継続して発展するため、関係機関と一丸となって取り組みます。

### 商工林業課

### 庄原市の企業を知ろう!

いきいき働く就職ガイダンス



熱心に話を聞く生徒たち

10月25日、庄原市総合体育館で「庄原でいきいき働く就職ガイダンス」を開催し、市内の事業所など45社が参加しました。午前は、「庄原合同ジョブガイダンス」と題し、市内の高校生約260人が企業ブースを巡り、各企業の事業内容や技術について説明を聞きまし



## 地域に感謝を

モーモー物産館感謝祭&黒岩城まつり・11/2

No.5

モーモー物産館感謝祭が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

会場では新鮮野菜やハンバーガー、アイスクリームなど、口和地域のグルメが数多く販売されました。

来場者からは、「野菜が安く買えてうれしい」「地域のおいしいものが集まるので、この日を楽しみにしていた」といった声が聞かれました。

当日は黒岩城まつりも同時開催され、市の指定史跡文化財である黒岩城址の歴史の紹介などPR活動が行われました。

黒岩城址保存会のメンバーは、「黒岩城址について多くの人に知ってもらいたい」と活動に取り組んでいました。



▲地域のグルメを楽しむ来場者

## 健康について考える一日に

カラダ・ココロ すこやかフェスタ・11/17

No.7

庄原市民会館で「カラダ・ココロすこやかフェスタ」と世界糖尿病デー「ブルーライトアップイベント2019」が開催されました。

健康・体力・認知症チェックのコーナーや、糖尿病・高血圧・食育に関するパネル展示、食育ポスター・小学生絵画コンクールの表彰などが行われました。

また、市立三次中央病院 糖尿病・代謝内分泌内科医長の杉廣貴史医師を講師に迎え、糖尿病に関する講演会も行われました。展示や講演会などを通して、来場者それぞれが健康づくりについて考える一日となりました。

さらに、糖尿病予防の啓発のため11月8日から17日まで庄原赤十字病院と西城市民病院、市役所本庁舎が青色にライトアップされました。



▲健康チェックを受ける来場者

## 火災の無いまちを目指して

秋の防火パレード・11/9-15

No.4

11月9日から15日まで行われた「秋の全国火災予防運動」に伴い、庄原市消防団が方面隊ごとに防火パレードを実施しました。

このパレードは、火災予防の意識をいっそう高め、火災の発生を防ぐことを目的に、毎年火災予防運動期間に合わせて実施しています。

各方面隊は、消防積載車による巡回のほか、地域住民への声掛けなどを行い、火災予防を呼び掛けました。

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節となりました。火の取り扱いには十分注意しましょう。

(関連記事：13 ページ)



▲パレードの様子(口和方面隊)

## 最新の技術を体験

交通安全教室・10/23

No.6

西城体育館横の駐車場で、西城地区高齢者交通安全モデル地区活動推進協議会による交通安全教室が開催され、地域から約20人が参加しました。

この活動は、高齢者の交通事故防止と、住民主体の交通安全活動の促進を目的に実施されています。

今回は庄原警察署総務係長の田原貴実さん、西城交番の妹尾智也さんを迎え、自動ブレーキなどを装備したセーフティ・サポートカーの体験を行いました。参加者はサポートカーに乗り、ブレーキを踏まずに障害物の前で停止する機能を体験しました。

体験者は「テレビで見えてはいたが、実際に体験して驚いた。事故を未然に防止できることは重要だと思う。今後の車購入の参考にしたい」と話していました。



▲サポートカーの機能を体験している様子

## 受け継がれる伝統

東城まちなみぶらり散歩ギャラリー・11/1-5 お通り・11/4

No.1

街道東城路(東城市街地)で「東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」が開催されました。街道沿い約600mに、各家の展示や手作り品などが並び、エレクトーンなどによる音楽会が行われました。期間中は着物の観光客などが東城のまちなみに華を添えてくれました。

また、沿道では東城中学校・東城高校生徒によるボランティアガイド「東城応援隊」が、来訪者へ見どころを案内しました。

11月4日には、東城小学校をメイン会場に「お通り」が開催されました。「お通り」は江戸時代から続く伝統行事で、東城五品獄城主の長尾隼人が関ヶ原の戦いの勝利を祝って、神社の祭り行列に武者行列を加えたことが始まりとされています。

サザンカで飾りつけた矢よけの武具「母衣」をはじめ、大名、武者、華童子など総勢約110人からなる行列が市街地を練り歩き、沿道は市内外から訪れた約2万人もの見物客やカメラ愛好家でにぎわいました。



▲大名武者行列と21体の母衣が町並みを歩く(お通り)

▲華やかな衣装のお通り姫



▲見どころを案内する東城応援隊(お通り)

▲酒蔵を利用し音楽会を開催(ギャラリー)

## やまびこ祭で供養牛と初共演

第27回比和やまびこ祭・10/27

No.3

「比和やまびこ祭」と「からだいきいき健康まつり」が、比和総合運動公園で開催され、約3千人が来場しました。祭りのスタートは、地域子どもたちが活躍するロードレース。一生懸命走る子どもたちに、たくさんの応援の声が上がりました。また、比和中学校生徒による比和牛供養田植の披露では、実際に使われる供養牛も登場し来場者を楽しませました。

その後も吾妻太鼓のステージや、全日本チャンピオンによるトライアルスーパーデモ(バイクで岩や急斜面を駆け上がるモータースポーツ)などが続きました。

さらにギタリストとして県内を中心に活躍中の森本ケンタさんによるステージショーでは、柔らかく繊細なギターの色に来場者は聞き入っていました。



▲供養牛が登場した比和牛供養田植の披露

## 花と緑のまちづくりを目指す

ガーデン大学2019・10/18、26、11/9

No.2

庄原観光いちばん協議会が主催する、ガーデニングファンの裾野を広げることを目的とした、花と緑に親しむ「ガーデン大学」が開催されました。

10月18日は世界で活躍中の石原和幸さんから庭作りのコツやガーデンショーでの体験談を聞き、10月26日は暮らしのアトリエ 大谷朱美さんからバラやハーブを生活に取り入れる活用術、11月9日は福山ばら会 石井総さんからバラの育て方を学びました。

講座終了後も、参加者から質問が次々に飛び出し、講師の方も解説に熱が入っている様子でした。

同協議会はほかにも、市内学校での緑化活動のパネル展示など、さまざまな活動を通じて、花と緑のまちづくりを推進しています。



▲植物の活用について解説する大谷さん



# あなたの相談をお受けします

悩みごと、心配ごと、  
お困りごとなど、  
お気軽にご相談を



※日程は都合により変更になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

各種相談	とき	ところ	備考	問い合わせ
定期巡回 児童相談	庄原 1月16日(木)10時~16時	児童福祉課あんしん支援係	広島県北部こども家庭センターによる相談。1週間前までに予約。	児童福祉課あんしん支援係 ☎0824-73-0051
	東城 1月9日(木)10時~16時	東城支所		東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131
人権相談	庄原 1月21日(火)13時30分~16時30分	庄原市ふれあいセンター	人権擁護委員	三次人権擁護委員協議会 ☎0824-62-2572
	東城 1月9日(木)13時30分~15時30分	東城ふれあいセンター		
	総領 1月8日(水)9時~11時	総領保健福祉センター		
行政相談	庄原 1月16日(木)13時~15時	庄原市ふれあいセンター	行政相談委員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154 東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121 総領支所市民生活係 ☎0824-88-3063
	東城 1月16日(木)13時30分~15時30分	東城支所		
	総領 1月8日(水)9時~11時	総領保健福祉センター		
法律相談	比和 1月10日(金)13時~16時	比和自治振興センター	広島弁護士会による無料相談。要予約。	広島弁護士会 ☎0120-969-214
生活安全相談	毎週月~金(祝日・年末年始除く) 9時~12時、13時~15時45分	市民生活課市民生活係	生活安全相談員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1244 東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
		東城支所市民生活係		
家庭児童相談	毎週月~金(祝日・年末年始除く) 9時~15時45分	児童福祉課あんしん支援係	家庭児童相談員	家庭児童相談専用 ☎0824-73-1243
消費生活相談	毎週月~金(祝日・年末年始除く) 9時~12時、13時~16時	市民生活課市民生活係内 庄原市消費生活センター	消費生活相談員	庄原市消費生活センター ☎0824-73-1228 市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
学校での体罰・ハラスメント相談	随時	教育指導課学事係(各学校でも受け付け)	プライバシーの保護、秘密保持を徹底します。	教育指導課学事係 ☎0824-73-1183
認知症カフェ	庄原 「とんぼ」 1月7日(火)・21日(火) 13時30分~15時	庄原ショッピングセンター ジョイフル2階	相談・情報交換 参加費100円	高齢者福祉課地域包括支援センター係 ☎0824-73-1165 西城支所保健福祉係 ☎0824-82-2202 東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131 比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001
	西城 「コスモスカフェ」 1月9日(木)13時30分~15時	西城保健福祉センター(しあわせ館)		
	東城 「おれんじカフェ・ええ塩梅」 12月24日(火)13時30分~15時	東城支所		
	比和 「あしたのカフェ」 1月21日(火)13時30分~15時	比和温泉施設あけぼの荘		
身体障害者補装具判定会	肢体 1月16日(木)13時~14時	広島県三次庁舎第3庁舎2階 三次市十日市東4-6-1	一週間前までに要予約	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
障害者相談員定期相談会	庄原 1月20日(月)13時30分~15時30分	庄原市ふれあいセンター	身体	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
心の健康相談	1月21日(火)13時~14時30分	広島県北部保健所 三次市十日市東4-6-1	精神科医師による無料相談。事前予約が必要。	広島県北部保健所保健課 ☎0824-63-5185

## 母子保健事業 ●保健医療課健康推進係 ☎0824-73-1255

事業名	とき	ところ	持ってくるもの	備考
母子健康手帳交付	1月6日(月)・1月20日(月) 8時30分~17時15分	保健医療課	特になし	支所は随時(事前連絡必要) ※手続きには約30分を要します。
育児相談	1月14日(火)10時~12時	庄原ひだまり広場 (庄原こども未来広場内)	母子健康手帳	支所でも実施(詳細はお問い合わせください)

## 火事に気をつけて

高野保育所園児が防火パレード・11/13

No.9

市役所高野支所周辺で、庄原消防署高野出張所と高野保育所幼年消防クラブによる「防火パレード」が開催されました。

これから寒い季節を迎え、火を使う機会が増えることから、地域の火災予防の意識を高めるため、毎年実施されています。

当日、高野出張所の消防車に先導され、高野保育所を出発した3歳から5歳までの園児30人は、「火の用心」と声を掛けながら町中を一周しました。

途中の保健福祉センターと市役所高野支所ではダンスを踊り、全員で「僕たち私たちは、火遊びはしません」などの防火の誓いを、大きな声で約束しました。



▲高野支所前でダンスする園児たち

## まちなかの歴史を学ぼう!

第3回しょうばら蔵ゼミin楽笑座・10/27

No.11

庄原まちなか協議会は、まちなかの「ひと」という資源に注目し、その「ひと」の得意分野を発信するイベント「蔵ゼミ」を、楽笑座で開催しています。

今回は、庄原自治振興区と協力し「まちなかの歴史散策」を開催しました。

奥田虎昭さんの案内で「楽笑座」から出雲街道や備中伯耆路などの旧街道を散策しながら、宝蔵寺宝篋印塔や、明治時代に建てられた庄原英学校などの歴史を学びました。

参加者からは「知らない歴史や文化を知ることができ、とても楽しかった」「次回は違うコースも歩いてみたい」といった感想が聞かれ、庄原市の貴重な歴史の一面に触れる一日になりました。



▲丑寅神社の歴史に耳を傾ける参加者

## 地元を懐かしむ

ひろしま備北会総会・10/13

No.8

第68回ひろしま備北会総会が総領自治振興センターで開催され、県内外から64人が参加しました。

ひろしま備北会は、広島市とその近郊に住む、庄原市出身者が集まって組織されており、会員相互の親睦を図ること、郷土の交流発展に寄与することを目的としています。

総会後半には、ひろしま備北会から庄原市へ車椅子が寄付され、贈呈式が行われました。

多くの会員が市外在住のため、久しぶりに訪れた地元を懐かしんでいました。

ひろしま備北会は随時随集しています。問い合わせ 幹事長 石田實浩(☎082-843-1312)



▲総会の様子

## ほっこり原画展

絵本原画展・10/19-25

No.10

東城自治振興センターで22回目となる絵本原画展が開催されました。

本年は、「ふじもとしろうの世界」と題して、絵本作家の藤本四郎さんの絵本「ねずみのえんそく もぐらのえんそく」の原画や、藤本さんがアニメ製作に携わった「まんが日本昔ばなし」の絵コンテ、キャラクターデザイン資料、風景画などが展示されました。期間中は多くの方が来場し、めったに見られない温かみのある作品を鑑賞しました。

また、10月23日、東城中学校で「アニメの世界から絵本作家へ」と題し、講演が行われました。講演では藤本さんがアニメ製作現場から絵本作家を目指した経緯などが語られ、生徒は熱心に聞いていました。



▲中学生の前で、自身の経験を語る藤本さん

催し

クリスマス親子で遊ぼう

ひまわり音楽教室、堂免啓子先生・渡辺智子先生と一緒に音楽に合わせて楽しませよう。

紙皿でクリスマスリースも作るよ！

とき 12月13日(金)

10時～11時30分

受け付け 9時45分～

ところ

庄原市ふれあいセンター

対象

未就園児とその保護者

※託児はありません

※お茶などは各自でお持ちください

※申し込みは不要です。当日会場へお越しください

問い合わせ

生協ひろしま組合員サービスセンター

☎0120・500・935

募集

第6回雪郷高野フォトコンテスト作品募集

対象作品

第22回広島県雪合戦大会(本年2月)で撮影した作品。

賞 金賞1点(2万円相当の副賞)

期限 令和2年1月14日(火)

または、雪をテーマに撮影した風景や人物などの作品。(平成30年11月1日以降に高野町で撮影されたものに限りです)
作品規定 カラー、モノクロのもの(四つ切り相当)。デジタルカメラで撮影した場合、写真用印刷紙にプリントしたもの。
応募規定 未発表の作品で1人3作品までの応募に限ります。写真真の場合1組3枚以内で1組を一つの応募として取り扱います。作品の裏面には、必要事項を明記した「応募票」を貼り付けてください。入賞した場合は、電子データ、ネガまたはポジフィルムを提出してください。応募作品の著作権は、主催者に帰属するものとします。応募票、応募作品の返却はしません。
注意事項 被写体となる第三者への了承は撮影者で得てください。トラブルが発生した場合は、撮影者の責任において解決し、実行委員会では責任を負わないものとします。

銀賞2点(1万円相当の副賞)
発表 第23回広島県雪合戦大会「2月1日(土)・2日(日)」で発表します。

申し込み・問い合わせ

広島県雪合戦大会実行委員会(事務局：高野支所地域振興室)
☎0824・86・2113

ごみ収集カレンダー

市が作成する令和2年度版の「ごみ収集カレンダー」に掲載する広告を募集します。
募集枠 12枠
規格 縦3センチ×横25センチ(見開きカレンダー)

配布部数 市内全世帯に約1万7千部配布

広告料金 1枠2万円(ただし、1社につき2枠まで)

募集期間 12月25日(木)まで

※応募多数の場合は、市内の方を優先し先着順とします。

申し込み・問い合わせ 財政課理財係
☎0824・73・1202

放送大学4月生募集

放送大学では、令和2年度第1学期(4月入学)の学生

を募集します。
10代から90代の幅広い世代、約9万人の学生が、大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で学んでいます。

放送大学はテレビ、ラジオで授業を行っているだけでなく、その授業をインターネットで好きなときに受講することもできます。心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。

資料を無料で差し上げていますので、お気軽に放送大学広島学習センターまでご請求ください。

期限 令和2年3月17日(火)

大学説明会日程(庄原会場) 令和2年1月11日(土)・2月8日(土)・3月7日(土)

問い合わせ 放送大学広島学習センター
☎082・247・4030

訓練生募集

広島県立三次高等技術専門学校では、令和2年4月入校生を募集します。
募集訓練科など
●自動車整備科(2年・高卒)

18歳以上30歳以下)
●溶接加工科(1年・45歳以下)

●建築科(1年・45歳以下)

●介護サービス科(6カ月・年齢制限なし)

※見学はいつでもできます。希望の方は、事前に連絡をしてください。

応募受付期間 令和2年1月7日(火)～2月13日(木)必着

選考日など 選考日・選考内容・合格発表日などは、当校へお問い合わせください。

特典 雇用保険受給者で、公共職業安定所(ハローワーク)の指示によって入校した人には、訓練の修了日まで受給期間が延長されるほか、諸手当が支給されます。

問い合わせ 三次高等技術専門学校
(三次市十日市南6・14・1)
☎0824・62・3439

水道管の凍結対策を

例年この時期は、凍結による水道管の破裂が起きています。水道管は気温がマイナス

最優秀賞 切田 光星(三次高3年)

第68回広島県中学校総合体育大会
(9月28日～29日/東広島市)

●バレーボールの部女子 第3位 東城中学校バレーボール部

ウルトラシニアカップ親善交流大会

ラージボール卓球大会
(8月23日/広島市)

●混合ダブルス1305 149

優勝 岩本 里美(西本町)

第3位 豊田 都(高町)

●女子ダブルス1305 149

優勝 岩本 里美(西本町)

第3位 豊田 都(高町)

その他

第44回広島県民体育大会

陸上競技庄原市選考会
(8月31日/市上野総合公園陸上競技場)

市内の主な施設 年末年始の業務案内

年末年始の業務予定は、次の表のとおりです。■の部分が休業日となりますのでご確認ください。
なお、「出生」、「死亡」、「婚姻」など戸籍に関する届け出や、埋火葬、斎場使用の許可手続きなどは、休み中でも取り扱います。詳しくは市民生活課戸籍住民係(☎0824-73-1157)までお問い合わせください。

Table with columns for facility names, phone numbers, and dates from 12/25 to 6/1. Facilities include 市役所, 田園文化センター, 総合体育館, etc.

(※)市民会館…1月4日(土)は庄原市成人式。一般利用は不可。
●その他の施設については、直接各施設へお問い合わせください。

4度以下になると、凍結による破裂の可能性が高くなります。寒波の到来による急な冷え込みに加え、屋外の露出している水道管や、普段使用していない蛇口などには、市販の保温材や電気式の凍結防止帯を巻くなどして、凍結対策を行いましょ。
【凍ってしまつたら】
凍った部分にタオルや布をかぶせて、その上からぬるま湯をゆっくりかけましょ。
直接熱湯をかけたり、急に熱湯をかけたりますと、水道管や蛇口が破裂することがあります。
問い合わせ 水道課工務係
☎0824・73・1170
または各支所水道室

ミツバチを飼育している方は「蜜蜂飼育届」の提出を!

養蜂振興法の定めにより、蜜蜂を飼育する場合は、その年の飼育計画などを記入した「蜜蜂飼育届」を、毎年1月末までに広島県に提出する必要があります。趣味で飼育する場合も提出が必要です。(手数料はかかりません)
ただし、園芸作物の花粉交配に必要な期間のみ飼育する

あっぱれ庄原 全国大会 第47回全日本空手道選手権大会
(12月7日/群馬県高崎市)

●団体戦
●組手個人戦
新井 蓮(呉港高3年)

第32回全国ラージボール卓球大会
(11月22日～24日/広島市)

●混合ダブルス140 第3位

豊田 都(高町)

県大会

第34回広島県高等学校独唱コンクール
(9月14日/広島市)

陸上競技庄原市選考会

国営備北丘陵公園 だより

# 備北イルミ

1月5日(日)まで開催!  
 ※12月31日(火)、1月1日(水・祝)は休園日  
 点灯時間:17時30分~21時  
 開園時間:9時30分~21時(入園は20時まで)  
 ※期間中、12月9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月)は14時開園

備北公園管理センター  
 ☎0824-72-7000 (http://www.bihoku-park.go.jp/)

New!

【今年のテーマは「M」】  
 エリアごとのテーマは次のとおりです。  
 ★中の広場:新時代  
 ★ひばの里:令和  
 ★花の広場:The Sky



☆Sky Illumination (スカイイルミネーション)  
 10台のサーチライトと大迫力のサウンドが冬の夜空を彩り、音と光のファンタジーが楽しめます。  
 とき 期間中毎日17時40分~20分間隔で約5分開催  
 ※最終の演出は20時40分から約5分間です  
 ところ 花の広場



☆クリスマスプレゼント  
 サンタさんから子どもたちへ、クッキーをプレゼント。  
 とき 12月24日(火) 17時30分~  
 ※先着300人。クッキーがなくなら次第終了  
 ところ 中の広場



☆児童虐待防止・里親制度推進キャンペーン  
 「安芸戦士メーブルカイザーヒーローショー」  
 子どもたちの笑顔を守るために戦うメーブルカイザーを応援しよう!  
 とき 12月21日(土) 16時30分~17時30分  
 ところ 中の広場 特設ステージ

※期間中のイベントなどは、電話または公園ホームページでご確認ください。



☆2019 SKY LANTERN Festival Christmas Lantern Night  
 冬の夜空にスカイランタンを一緒に空に浮かべ、幻想的な一時が楽しめます。  
 とき 12月21日(土) 16時~18時  
 ※ランタン引き渡し18時30分  
 ※荒天の場合翌日に延期  
 ところ 花の広場  
 定員 300組  
 料金 3500円/組  
 ※チケット制です。  
 問い合わせ 2019 SKY LANTERN Festival 事務局  
 ☎082-2008-3850

相続空き家問題、成年後見等でお困りの方、あなたの世代で解決しましたか?

業務のご案内

- 不動産の名義変更 ●成年後見
- 相続登記・遺言 ●会社の登記
- 借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに記載しています。

原 司法書士

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号)(司法書士登録番号828号) 平成29年4月1日より庄原市役所前に事務所移転しました。  
 新住所 〒727-0012 広島県庄原市中本町一丁目8番16号 TEL0824-72-2315(要予約)

住まいの事なら何でもご相談下さい。

長岡商事株式会社

住まいの修理、新たなご提案、施工、アフターケアまで地元ならではのフットワークで、皆さまの大切な住まいをより快適にするお手伝いをしています。

☎0120-184-268

広島県庄原市是松町 5020 番地 40 TEL0824-72-0561

- 男子100m 第1位 藤谷 風沙(板橋小6年)
- 女子100メートル 第1位 山口小友季(庄原小5年)
- 男子80m 第1位 渡辺 心椛(東小5年)
- 女子走り幅跳び 第1位 藤岡 月心(口北小5年)
- 男子4x100mリレー 第1位 (東城小Aチーム) 白岩 蓮(東城小6年)
- 女子4x100mリレー 第1位 伊山 桂生(東城小6年)
- 男子100m 第1位 森永 蓮(板橋小6年)
- 女子100m 第1位 小滝 元翔(口南小5年)
- 男子走り幅跳び 第1位 藤田 宗羽(美古登小6年)
- 男子100メートル 第1位 大山 啓輔(高野小5年)
- 女子100メートル 第1位 山本 千尋(美古登小6年)
- 男子80m 第1位 山下 咲希(板橋小6年)
- 女子80m 第1位 藤谷 風沙(板橋小6年)
- 男子走り幅跳び 第1位 藤岡 月心(口北小5年)
- 女子走り幅跳び 第1位 山下 咲希(板橋小6年)
- 男子4x100mリレー 第1位 (東城小Aチーム) 白岩 蓮(東城小6年)
- 女子4x100mリレー 第1位 伊山 桂生(東城小6年)
- 男子100m 第1位 森永 蓮(板橋小6年)
- 女子100m 第1位 小滝 元翔(口南小5年)
- 男子走り幅跳び 第1位 藤田 宗羽(美古登小6年)
- 男子100メートル 第1位 大山 啓輔(高野小5年)
- 女子100メートル 第1位 山本 千尋(美古登小6年)
- 男子80m 第1位 山下 咲希(板橋小6年)
- 女子80m 第1位 藤谷 風沙(板橋小6年)

- 最優秀賞 津田ほのか(比和中1年)
- 優秀賞 横山 葵咲(庄原中3年)
- 入選 伊藤はるか(西城中1年)
- 一般の部 竹森 暖(西城中1年)
- 社会を明るくする運動 作文標語コンテスト 庄原市推進委員長賞 ●作文 小学生の部 曾田 篤生(高野小6年)
- 標語 糸原 愛理(高野中2年)
- 令和元年度税をテーマとしたポスター 岩竹 雪哉(口北小)
- 子どももの部 大賞 香川ななか(八幡小)
- 入賞者について 第15回庄原絵手紙大賞

- 野田 優花(西城中1年)
- 山本 真央(西城中1年)
- 松野 夕香(比和中1年)
- 高柴 桜(東城中3年)
- 竹田 七海(東城中3年)
- 長木 海樹(東城中3年)
- 名越 由織(東城中3年)
- 和田 愛実(東城中3年)
- 野田 優花(西城中1年)
- 山本 真央(西城中1年)
- 松野 夕香(比和中1年)
- 高柴 桜(東城中3年)
- 竹田 七海(東城中3年)
- 長木 海樹(東城中3年)
- 名越 由織(東城中3年)
- 和田 愛実(東城中3年)

「この社会あなたの税がいきている」

インターネットで申告・納税できる e-Tax (国税電子申告・納税システム) http://www.e-tax.nta.go.jp

公益社団法人 庄原法人会

めざまし ぶき経営者による 正しい納税で 企業の繁栄と社会への貢献

〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 (庄原商工会議所会館内) TEL 0824-72-1889 (FAX兼用) HP: http://www10.ocn.ne.jp/~shk/

大賞 一橋 富貴(西城町)

優秀賞 足羽やエ子(本村町)

石富まち子(口和町)

竹内 康子(西城町)

奨励賞 片岡 義之(七塚町)

中村 朝恵(口和町)

定本恵美子(口和町)

古本 文子(板橋町)

澤田かず子(口和町)

政森 和子(東城町)

地子給貴美子(東城町)

森近 美子(比和町)

田島由紀子(口和町)

吉政 澄江(実留町)

私がお伺いしますぜひ【美幸~ピコウ~】にご相談を。プライバシー厳守致します。

遺品整理・生前整理・出張買取

処分する前にお電話を！何でも買わせていただきます。

心の絆、安心の証

スエムネグループ創業60周年の安心と信頼

担当 末宗 良規

遺品整理士 美幸~ピコウ~

0120-66-1035

広島県三次市塩町2123-5

**人の動き**（庄原市の人口）  
令和元年10月末現在

【住民基本台帳記載人口】  
人口 34,960人（前年比-682人）  
男 16,629人（前年比-321人）  
女 18,331人（前年比-361人）  
世帯数 15,524世帯（前年比-116世帯）  
【うち外国人】人口 442人（前年比+52人）  
○庄原地域 17,809人（7,942世帯）  
○西城地域 3,316人（1,412世帯）  
○東城地域 7,539人（3,492世帯）  
○口和地域 1,942人（798世帯）  
○高野地域 1,719人（671世帯）  
○比和地域 1,331人（601世帯）  
○総領地域 1,304人（608世帯）

**市税・水道料金・下水道使用料**  
納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。  
残高確認も忘れないでください。  
●収納課 ☎0824-73-1145  
●下水道課管理係 ☎0824-73-1175  
●水道課業務係 ☎0824-73-1197

**休日診療のご案内**

12月・1月の休日診療については、次のとおりです。  
●庄原市休日診療センター  
診療日：日曜・祝日・年末年始（12/30～1/3）  
☎診療日 ☎0824-72-9900  
診療日以外 ☎0824-73-1155（保健医療課）  
●東城地域

12月22日(日)	瀬尾医院	☎08477-2-0023
29日(日)	こぶしの里クリニック	☎08477-2-5255
30日(月)	三上クリニック	☎08477-2-1151
31日(火)	東城病院	☎08477-2-2150
1月2日(木)	瀬尾医院	☎08477-2-0023
3日(金)	こぶしの里クリニック	☎08477-2-5255
5日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
12日(日)	日伝医院	☎08477-2-2180
19日(日)	瀬尾医院	☎08477-2-0023

**献血のご案内**  
☎保健医療課 ☎0824-73-1155

献血を次のとおり実施します。  
400ml 献血限定ですので、皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
1月10日(金)	庄原市役所本庁舎	10時～11時30分 12時30分～15時

**広報日記**

▶お通りの取材に行ってきました。このような伝統行事がいつまでも続いていくとよいですね。㊤  
▶庄原材の活用のための連携協定締結。庄原の強み（豊富な資源）が有効に生かされるとよいですね。㊤

**食育コーナー**  
園児童福祉課 ☎0824-73-1214

『5つのちから』を育む保育

西城保育所の子どもたちは、菜園活動や園外活動をしながら季節ごとに旬の食材を生かしたクッキングを実践しています。春にはツクシの佃煮・桜茶・梅ジュース作り。夏には夏野菜カレー・なすジャム作り・きゅうりの浅漬け。秋にはかぼちゃ団子・サツマイモの味噌汁など、自分たちが育て収穫した食材を使って、作ったり食べたりすることで食への関心を深めています。

今年は、町内の中学生のお兄さん、お姉さんたちと一緒にサツマイモの苗を植え、収穫をしました。収穫したサツマイモは、生徒や園児たちがそれぞれにクッキングしておいしく食べました。



植える、育てる、収穫する、料理する、の活動を通して、庄原市食育推進計画の『5つのちから』（食材を選ぶ・食べ物の命を感じる・おいしさや味がわかる・料理を作る・元気なからだができる）を育み、健全な食生活を実践することができる人の育成を目指しています。  
また、植物にも命があり、生長することに気づき、食材の命を感謝していただく「いただきます」と、おいしく食べるまでにいるんな人が手間暇をかけることに感謝する「ごちそうさま」を、心から言える子どもに育ってほしいと願っています。

**しょうばら九日市**

毎月9日は、しょうばら九日市 1月

★出店者募集中！あなたのお店を開こう。  
★毎月20日が出店申込締め切りです。  
★申し込みは楽笑座内九日市事務局  
☎0824-72-8285 まで  
とき 1月9日(木) 9時～13時  
ところ 中本町・まちなか広場周辺(のほりが目印)  
詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.jp/information.html>

**時悠館** ☎08477-6-0161  
開館：9時～17時 休館：水曜(祝日開館・翌日休館)・年末年始

時悠館秋・冬の企画展  
「庄原盆地 弥生王墓誕生」開催中

宮内町・高町の佐田谷・佐田峠墳墓群（8基）は、西城川と宮内川に挟まれた細長い丘陵上に3基と5基の墳墓群が並び、約2000年前の弥生墳墓群です。

庄原市教育委員会と広島大学考古学研究室による約10年間の学術調査の結果、弥生墳墓が、死者を弔う「墓標」から葬送儀礼を行う「舞台装置」へと大きく変化していく過程が解明されました。さらに、この墳墓群は後の前方後円墳へとつながっていく出雲や吉備など各地の王墓級墳墓の共通の「お手本」とみられることが判明したのです。

佐田谷1号墓（四隅突出型墳丘墓。全長19m、弥生後期初頭、1世紀）は、墳丘上に長さ約4mの大きな墓穴を掘り、「木槨」とよぶ木の部屋を作って「木槨」を安置する、非常に手厚い埋葬でした。木槨は古代中国の王侯貴族の埋葬方法とされ、日本では最古とされます。

続く佐田谷3号墓（方形台状墓。全長24m、弥生後期前葉、1世紀）は、墳丘上に長さ約6mの極めて巨大な墓穴をもち、埋葬施設の天井が朽ちて落ちたくぼみの大きさからも大型の木槨が予想され、被葬者は破格の身分の存在であったことが察せられます。

墳丘上や墓穴上からは、脚付長頸壺や注口付脚付鉢など、多くの儀式用土器が見つかりました。脚付長頸壺は吉備との交流を、注口付脚付鉢は吉備・伯耆との交流を物語ります。葬儀に際して、山陰や山陽の各地の首長たちが自慢の品々を携えて参集し、会食して葬儀を進め、国づくりを論じ合ったのでしょう。また、そうした関係性の中で墳墓や儀式の形式と内容がしだいに整えられ、後への規範として共有されていったと考えられるのです。

これらの墳墓群が営まれたのは紀元前後のわずか百年ほどですが、当時は中国で漢王朝の滅亡と再興が続く激動の時代でした。佐田谷・佐田峠墳墓群は、四隅突出型墳丘墓だけでなく、方形台状墓、方形貼石墓、方形周溝墓など規格の違う墳墓が同じ丘に並び、まるで「墳墓の実験場」です。各地の人々とともにこの地で知恵を持ち寄り、格式の高い葬送儀礼のあり方を互いに模索し、試行錯誤を続けていった様子がかがえます。

会場では、王墓創出という前例なき革新を、広域連携と試行錯誤を通じて成し遂げた弥生時代の先人の英知と、「悠かに限りなく遠い時」の流れに想いをはせてみてください。



複数機関から初めて勢ぞろいした出土品 脚付長頸壺 注口付脚付鉢

**市民ギャラリー「アート多愛夢」**  
情報BOX（西本町二丁目1番21号）

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

令和の具合わせ  
とき 1月8日(水)～10日(金) 10時～15時  
※平安時代の遊び体験  
9日(木)の①10時30分～②13時30分～  
☎庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453  
☎商工林業課商工振興係 ☎0824-73-1178  
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料は要りません。

食彩館しょうばら  
ゆめさくら ☎0824-75-4411

12月・1月のイベント情報

- ▶ゆめさくら講座
- 草木染教室「自由作品」  
とき 12月9日(月)  
①9時～12時 ②13時～16時  
定員 ①②各12人  
参加費 5,000円  
※1月は27日(月)開催予定です。
- ▶展示・販売&イベント
- 庄原実業高校 庄実農業クラブ  
※学校で生産した農産物の販売  
とき 12月14日(土) 10時～
- 瀬戸内海産物特選市(音戸ちりめん、珍味など)  
とき 毎週土・日曜日 10時～ ※毎月開催予定
- 干支展  
とき 12月12日(木)～2月3日(月)
- 年末感謝祭  
とき 12月21日(土)～25日(水)(予定)

【年末年始の営業】

休館日 12月31日(火)～1月3日(金)

初売り 1月4日(土)

【営業時間の変更】

12月1日から2月29日までは17時に閉館します。  
※12月21日から30日までは18時まで営業します。

**ロビーコンサート**  
☎生涯学習課 ☎0824-73-1188

とき 12月23日(月) 12時15分～55分  
ところ 市役所1階市民ホール  
出演者 木原朋子・川東陽華  
演奏曲目 長唄「越後獅子」、手事、銀河ほか  
▶木原朋子…エリザベト音楽大学卒業、同大学院修士課程修了。現在沢井箏曲院教師、比治山女子中学・高等学校非常勤講師、エリザベト音楽大学講師。  
▶川東陽華…東京藝術大学音楽学部邦楽科長唄三味線専攻卒業。広島の子どもたちや教職員に長唄や三味線の魅力を伝える活動を行う。藝大OBによるグループ「Group4」所属。長唄協会会員。

いちばん  
づくり課

## 比婆いざなみ街道のPRと沿線地域の活性化を図る

いざなみマラニック2019～第3回比婆いざなみ街道マラニック～

11月10日、「いざなみマラニック2019」第3回比婆いざなみ街道マラニックを開催しました。遠くは東京、横浜、福岡からの参加者を含めた344人が参加し、晴天の秋空の下、比婆いざなみ街道沿線の比和町から高野町の区間を駆け抜けました。

今大会は、「60kmの部」と「13.73kmの部」の2部門があり、おおむね5kmごとに設置されたエイドステーションでは、地元自治会や団体の皆さんが、庄原の秋の味覚を楽しめる、趣向を凝らした地域ならではの食事を振る舞い、大会を盛り上げました。

実行委員長の石川芳秀さんは「今回の大会も地元の皆さんをはじめ、多くの方に関わってもらい、盛会のうちに終わることができた。皆さんのおもてなしで、参加者にとって満足度の高い大会となった」と話していました。

今後、比婆いざなみ街道沿線資源を活用したさまざまな取り組みを行い、地域資源の認知度の向上と観光客の増加、地域経済の活性化への展開を図ります。

●今回も参加者からたくさんのお声をいただきました。

▼紅葉や牛やりんご畑のそばを走れる、すっごく楽しいコースだった

▼スタッフや地元の皆さんの応援が温かくとても励みになった

▼エイドステーションの比婆牛がとてもおいしかったので、帰宅途中、購入した  
▼エイドが豪華すぎて、地元の皆さんには深く感謝！



13.73kmの部 スタート前記念撮影



湯川コミュニティセンター(エイド 66kmの部)



あけぼの荘(エイド 共通)



古民家 長者屋(エイド 共通)



ゴール



いちばんでゴール 木山市長から月桂冠



メイン会場に駆けつけたヒバゴンと

大会の様子は「いざなみマラニック」公式HP上の写真でご覧ください。

公式HP <http://shobara-maranic.com/>